

第8回 大阪府小売業+Safe 協議会 議事録

令和8年1月23日実施（令和7年度第2回）

1 特別講演について

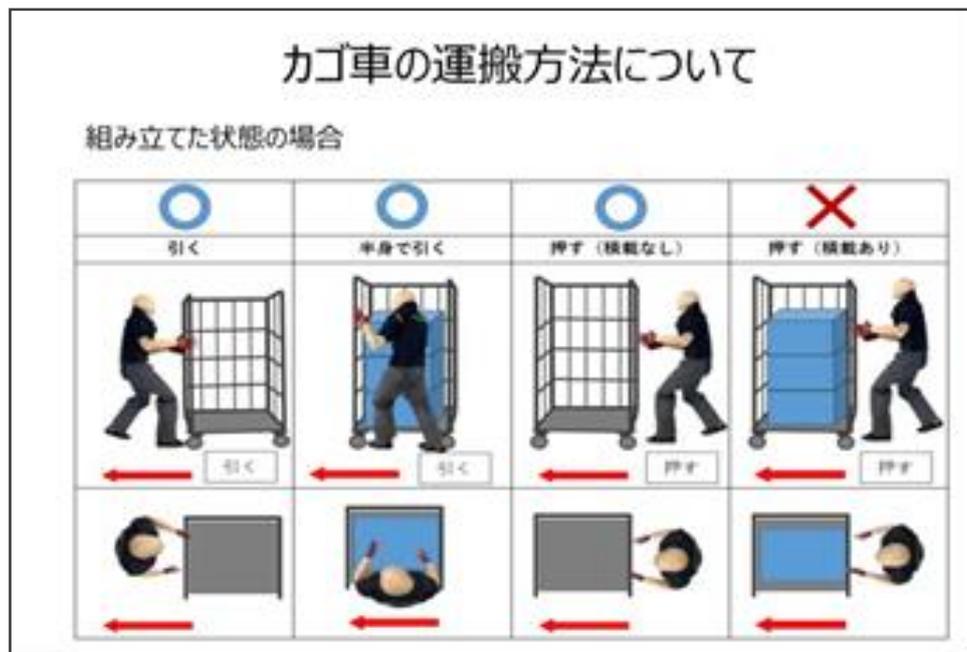
転倒・腰痛災害発生状況、エイジフレンドリーガイドライン、転倒防止のための体操等に関する講話及び実演が中災防講師から行われた。

2 各社討議事項・災害事例について

(1) 雇入れ時教育教材や作業手順書は多くの事業場で、イラスト付きや動画によるものが作成されていた。

動画は自社での撮影やプレゼンテーションツールを活用して作成されていた。

また、雇入れ時教育実施後に確認テストを実施している事業場があった。



イラスト付き作業手順書（例）

- (2) ほとんどの参加事業場で、労働災害防止対策としてヒヤリハットやリスクアセスメントが実施されていた。
- (3) ウォークイン式の冷凍庫内の床が凍って転倒する災害で、対策として冷凍庫ドアパッキンの緩みによる外気の流入の可能性が考えられたため、ドアパッキンの交換を行った事例発表に対して同様の危険を認識している事業場が見受けられた。
- (4) 発生した災害の対策については、暫定的な対策を実施後、恒久的対策を行っているもの、店舗で対策を実施し、本部でリスクアセスメントを実施しているもの、中央安全衛生委員会を通じて全店舗に災害事例と対策を水平展開しているもの等の対応が行われていた。

災害を契機とした対策（例）

災害事例 1

災害：店内レジでテープを使用した際、テープカッターが手前に落下。

左足薬指に当たり骨折

対策：据え置き型のテープカッター全てに対して裏面を両面テープで固定。



災害事例 2

災害：従業員階段で最後の段の踏み外し（多発）

手すりの形状も一因と判断。

対策：手すりに注意喚起を表示

（暫定的対策。全店舗で同様の対策）



（5） 切創防止手袋については、機械スライサー使用時は防刃鎖手袋、カッターナイフ使用時は、軍手型の切創防止手袋等、作業内容に応じて多くの参加事業場が保護手袋を使用していた。

（6） 靴については、作業に応じ、長靴や安全靴が支給されていた。

（7） 上記の他以下の取り組み事例の発表があった。（今後の取り組み予定含む）

- ・ 危険予知訓練シートについて、イラストから写真への変更
- ・ 転倒災害防止のため、アスファルトの段差解消、床配線の天井配線への変更
- ・ 墜落災害防止のため、脚立からステップ台への切り替え
- ・ 夏場はスポットクーラー周辺に水濡れが発生するため、転倒災害防止のためのふき取り備品の配置
- ・ 腰痛防止のため、重量物を持ち上げずに作業ができる品出し作業手順への変更